



滝口輪番を導師に7名の別院僧侶が出勤しての法要となりました

第34号

発行所

浄土真宗本願寺派 本願寺神戸別院  
〒6500011  
神戸市中央区下山手通八丁目一番一号  
TEL 078-341-5949

別院だより  
**モダン寺新聞**

## 本願寺神戸別院 永代経法要を修行 ～6月15日・16日の両日～

毎年、六月に勤めております「本願寺神戸別院永代経法要」が今年も六月十五日・十六日の二日間勤まりました。この「永代経法要」とは、親鸞聖人がお示しく下さいました浄土真宗のみ教えを聞き慶ぶと共に、み教えを伝える中心となるお寺が末永く存続し、子や孫へ次世代へとお念仏を受け伝え、ご法義の相続が途切れることなく続くようにとの願いから勤められる法要です。

この法要期間中は、本堂左側の余間に故人の法名を記した法名軸が奉献されます。通常は、左余間には七高僧（親鸞聖人が師と仰がれた方々）の御影が奉献されておりますが、法要期間中は右余間の聖徳太子御影の隣に移されます。

両日とも、午後一時三十分より本堂にて、十五日は観無量寿経作法、十六日は無量寿経作法を滝口隆誠輪番を導師としてご法要が勤められました。特に注目すべきは、十五日に勤まりました観無量寿経作法は、通常お経は呉音（ごおん）読みで読むのですが、この作法においては漢音（かんのん）読みで読まれます。例えば、みなさんがよくお聞きになる「願以此功德」（がんにしこうとく）が、漢音読みでは（げんにしこうとく）となります。



ご講師の若林眞人師

きないが、お経として今仰いでいるとお話しくださるお経の大事さを分かりやすく伝えていただきました。

このように、永代経法要において特別な作法でお勤めするのは、浄土真宗の正依の經典である浄土三部経（仏説無量寿経、仏説観無量寿経、仏説阿弥陀経）を末永く伝えていくという永代経法要の趣旨に則り日常よくお勤めされます阿弥陀経以外の二つのお経もみなさまにお遇いしていただきたいの願いからです。この度のご法要にご参拝できなかった方は、是非とも来年の永代経法要にご参拝いただきます。

また、法要後には、浄土真宗本願寺派布教使・大阪教区中島東組光照寺の若林眞人師をお迎えしてのご法話がございました。ご法話の中で、二河白道の喩えを通して浄土真宗ではお釈迦さまは過去の方ではなく、また、お経も過去の話ではなく、今現在説法をくださるお釈迦さまの直説であると示し、お釈迦さまのお姿は現在見ることはできないが、お経として今仰いでいるとお話しくださるお経の大事さを分かりやすく伝えていただきました。

# 東日本大震災

## 現地調査報告 (第二号)

四月二十五日から二十八日の四日間、神戸別院職員二名と青年僧侶の会役員二名にて第二回目の現地調査が行われた。その際に、各地での被災された方々からの声を聞くことができましたのでその一部を報告させていただきます。

### 〈宮城県〉

#### ～石巻市立門脇中学校にて～

避難者 八百六十一名

少し前までは、避難所によって救援物資の差があったが、今は市または自衛隊へ物資依頼をするということにより必要な物が届くようになってきている。そのため、各市が募集している内容を確認して市役所へ送っていた多くのが無駄のない方法ではないかとのことでした。

また、仮設住宅に引越した人は避難所の生活より自立性が求められるので、年配者の生活支援について心配していると言う。津波の被害が大きかったことから、仮設住宅の建設場所がより高めの場

所に多くが建設されたこともあり、そのため、普段の買いものに行くのも年配者にとっては苦勞するのではないかとのことでした。

#### ～石巻市立青葉中学校にて～

避難者 八百四十名

最も必要とするものはお金であるが、まず優先するのは家と答えられていた。

避難所には、学校が多く使われているので、いつまで避難所として使用できるか分からないということが、先が見えないといった不安に感じる一つになっている。

また、最初は、命が助かってよかったという思いが強いが、避難所での生活が続くことで共同生活のストレスが徐々に蓄積されるのではないかとの心配もされていた。

#### ～宮城組称法寺にて～

称法寺付近は、津波による家屋の損傷が激しく、多くの家屋が跡形もなくなっている。称法寺では、

支援活動により本堂内部の瓦礫は取り除かれている。また、専門家による調査では、本堂の骨組みはしっかりしているので補修で何とか復旧できるとの見解が得られたとのことでした。



瓦礫の撤去が進んだ称法寺

### 〈岩手県〉

#### ～陸前高田市立第一中学校にて～

避難者 千二百二十名

自衛隊による物資等の支援が全般に行われており、各教室で医療の支援も行われていた。自衛隊が常駐していることもあり、必要な物資は二日程度で取り寄せることができるとのことでした。

体育館が、避難者の生活場所

なっている。そこには、インターネットに接続されたパソコンや読書ができるように書籍も準備された一角もあった。また、抽選会で景品が当たるイベントなども少しながら行われていたりして徐々に生活を取り戻している感じであった。



現在も避難生活の場となっている体育館

### 義援金のお礼

先般、別院門徒のみなさまにお願いいたしました義援金が左記の通り集められました。ご協力いただきありがとうございます。

金 二十六万五千円

(六月三十日現在)

なお、引き続き受付をいたしておりますのでご協力ください。

## 平成二十三年度 宗祖降誕会

平成二十三年度本願寺神戸別院降誕会法要が、五月十五日に修行されました。親鸞聖人は、承安三年（一一七三）に京都の日野の里（伏見区）にてお生まれになりました。それを機縁として、降誕会がお勤めされます。その降誕会とは、浄土真宗をお示しく下さいました親鸞聖人がお生まれになったことを祝いさせていただくと共に、阿弥陀さまのお心をいただきお念仏の道を歩ませていただく尊いご勝縁でございます。

この度のご法話は、六粟組教專

寺の大西宝雲師をお迎えいたしました。先生は、降誕ということばそのものが実は、親鸞聖人はお浄土から来られた人であると我々が受け止めさせていただいていることばではなでしょうかということからご法話が始められました。

また、当日は、本願寺派の宗門校であります兵庫大仏学茶道部による抹茶接待も行われ多くの参拝者がお接待を受けられました。



設置したLED照明（本堂右側）

## 本堂の照明を「LED」へ 節電対策の一環として

この度、節電対策の一環として本堂における照明器具を省エネで話題のLED照明に交換いたしました。従来の照明器具は、高圧ナトリウム灯を使用しておりましたため明るくなるまで時間がかかったり、また、熱に困って天井部分に煤で汚れるといったことがありました。LED照明は、発光ダイオードを使用しており小電力・長寿命といった利点が挙げられます。また、赤外線を出さないため照らされている部分に熱を伝えないので、室町時代作のご本尊にも負担が掛からない

ことからご本尊前にも新たにLED照明を設置いたしました。これにより古くから伝えられてきたご本尊さまが仰ぎやすくなりましての是非ともお参りください。

## 春の遠足に行ってきたよ モダン寺土曜子ども会

五月二十一日（土）『モダン寺土曜子ども会春の遠足』が開催されました。今年の春の遠足は、『明石市立天文学科学館』、九人の子ども達と一緒に、爽やかな五月の空を感じながら、電車に乗っての遠足となりました。

今回の目玉は『プラネタリウム』。天井一杯に投影された、沢山の星の下で、星座の話や星空の不思議を学びました。

プラネタリウムの後は、お昼ご飯。シートを広げて屋外で食べるお弁当は格別でした。

お昼を食べた後は、天文学科学館の展望台に登ったり、沢山の宇宙の不思議についての展示を見たりと、楽しい時間を過ごしました。

モダン寺土曜子ども会では、毎月の集まりの他に、春と秋、年二回の遠足や、夏のサマースクール等、色々なイベントを企画しております。

お寺で過ごす時間の中で、『いのち』や『ほとけさま』のことなど、大切なことを学びましょう。たくさんのお友達の参加をお待ちしています。

## 別院仏壮松井須美男さん 瑞宝単光章受章



松井須美男さん

平成二十二年秋の叙勲褒章において、別院仏教壮年会会長の松井須美男さん（八十二歳）が瑞宝単光章を受賞されました。松井さんは、昭和十九年から四十年間、日本国有鉄道にて勤務されました。中でも、昭和四十年から退職されるまで京都駅助役として勤務され、新幹線チーフ、京都駅の整備などの大役を務められました。また、青年期には仏教青年会やボーイスカウトなどの活動もされ宗門内においても幅広く活動されました。これらのことから、在職期間中は、親鸞聖人七百回大遠忌法要などの大法要が修行された時期でもあり本願寺と国鉄のパイプ役を担っておられたそうです。現在は、壮年会会長、さらに別院財産管理委員会委員も務められておりこれからも活躍が期待されます。

## 別院行事の ご案内

### ○暁天講座

八月一日（月）から三日（水）  
午前七時から本堂にて  
講師

一日 西田 智教師

二日 渡邊 顕代 師  
（播磨中組福恵寺）

三日 藤岡 良治 師  
（阪神南組長安寺）

\*ご法話終了後に、朝粥をご  
用意いたしております。

### ○第一土曜仏教講座

八月六日（土）  
午後一時三十分より本堂にて  
講師 小澤 輝郎 師  
（神戸龍谷中・高等学校前校長）

### ○孟蘭盆会

八月十五日（月）  
午後一時三十分より本堂にて  
講師 滝口 隆誠 輪番

### ○秋季彼岸会

九月二十二日（木）から  
二十四日（土）までの三日間  
午後一時三十分より本堂にて

## お盆参りについて

毎年、八月十一日～十五日までの期間に皆様のお宅へお盆参りに伺わせていただいております。今年もお参りに伺わせていただきますが、皆様にお願いがございいますのでお知らせいたします。

お盆参りについては、事前に、別院より葉書にて皆様に日程の伺いをさせていただいておりますので都合の悪い場合はご連絡ください。

また、お参りの時間については盆の期間が限られておりますことや、又当日の天候や交通事情によってお伺いする時間のお約束が出来かねますので、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

また、別院内及び納骨所にての読経もさせて頂きますのでご希望の方は事前にご連絡ください。

## 夏期休暇の お知らせ



八月十六日（火）から二十日（土）までの五日間別院業務をお休みさせていただきます。なお、期間中は、日直体制を取っておりますので緊急の場合はご連絡ください。

## 帰敬式のご案内

（報恩講法要）

平成二十三年十一月二十七日

（日）より三日間、本願寺神戸別院

にて報恩講法要がお勤まりになります。それに伴い、二十八日、別院にて帰敬式（おかみそり）を行います。

帰敬式とは、三宝（仏・法・僧）を敬い、仏教徒として、更には浄土真宗の門徒としての自覚のもとに、親鸞聖人のお示しくださったみ教えを心の拠り処として、今後の人生を力強く生き抜いていく決意をあらたにする儀式です。帰敬式を受式されますと、仏弟子であることをあらわす法名（釋○○）をいただきます。これは、仏教をお示しくださったお釋迦さまのお弟子になるという意味から、お釋迦さまの釋の字を必ず一字いただきます。そして、あとの二字につきましては、本願寺よりいただくこととなります。なお、予め法名の希望がある場合は、内願法名という形で申請することもできます。

帰敬式は、通常は本願寺にて受式していただきますが、この度は、本願寺より帰敬式執行者をお迎えしての帰敬式となりますのでこの機会に是非とも受式ください。

ききょうしき

## 帰敬式〈おかみそり〉受式のご案内

日 時 : 2011（平成23）年11月28日（月）午後4時30分より

\*集合は、午後3時30分となります。

場 所 : 本願寺神戸別院本堂

申込期限 : 2011（平成23）年8月末日（内願法名希望者）

申込方法 : お名前・ご住所・電話番号・生年月日・年齢をお知らせください。

受式冥加 : 成人 10,000円、未成年 5,000円

\*内願をご希望の方は、別途1万円以上のご懇志が必要となります。

そ の 他 : \*式章・お念珠は当日お配りいたします

\*受式冥加は当日承ります

\*式は椅子席での執行となります